環境経営レポート

2019年度

2019年4月　～　2020年3月

福島工場

本社工場
LAB推進室

福島第2工場

2020//06/17　作成

(有)飯田製作所

作 成	確 認	承 認
石上	佐藤	野渡

目次

1） 会社名概要 …… 1

2） 環境経営方針 …… 2

3） 福島工場2019年度目標と実績 …… 3

4） 福島工場2019年度活動の評価 …… 4

5） 福島第2工場2019年度目標と実績 …… 5

6） 福島第2工場2019年度活動の評価 …… 6

7） 本社工場及び工場共通活動の評価 …… 7

8） 環境経営と評価 …… 8

9） 環境関連法規への違反、訴訟等の有無 …… 9

10) 代表者による全体評価と見直し …… 9

1）会社概要

□ 会社名

有限会社飯田製作所

□ 代表者名

代表取締役　　野渡　透一

□ 所在地

本社工場　　（EA21認証登録：取得日 2015年8月　番号0002817）
　　〒245-0018　　横浜市泉区上飯田町823番地

福島工場　　（EA21認証登録：取得日 2008年8月　番号0002817）
　　〒969-1203　　福島県本宮市白岩字埋内120-2

福島第2工場　（EA21認証登録：取得日 2010年8月　番号0002817）
　　〒969-1204　　福島県本宮市糠沢字水上21-2

□ 環境管理責任者

野渡　潤也（工場長）

□ 連絡先

福島第2工場
　　電話　　0243-64-2320　（代表）
　　FAX　　0243-64-2571

□ 事業内容

輸送機器部品製造（フッ素樹脂、ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞﾌﾟﾗｽﾁｯｸ）

□ 事業活動（認証登録範囲）

産業機械・自動車用の樹脂製パッキンシール、オイルシール等の製造

□ 事業規模（2019年度）

本社工場　LAB推進室

	単位	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
①従業員数	人	2	1	2	2	2
②敷地	㎡	1,227	1,227	1,227	1,227	1,227
③延べ床面積	㎡	466	466	466	466	466

福島工場

	単位	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
①生産量	万個	7,721	9,256	10,908	9,318	11,012
②売上高	百万円	1,093	1,340	1,560	1,148	1,335
③従業員数	人	69	67	71	81	77
④敷地	㎡	5,800	5,800	5,800	5,800	5,800
⑤延べ床面積	㎡	1,920	1,920	1,920	1,920	1,920

第2工場

	単位	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
①生産量	万個	757	948	11,018	769	845
②売上高	百万円	894	1,012	1,333	627	544
③従業員数	人	52	56	69	76	80
④敷地	㎡	14,200	14,200	14,200	14,200	14,200
⑤延べ床面積	㎡	2,488	2,488	2,488	2,488	2,488

2)環境経営方針

環 境 経 営 方 針

企業理念に基づき全ての業務を通じて省エネ、省資源、
リサイクルの推進、廃棄物削減を自主的、継続的に
推進し、地球環境の保護に努める。

1. 製品製造に関わる環境側面のうち、次の項目を
環境管理重点テーマとして取り組みます

(1) 二酸化炭素の排出量削減
照明や空調等を見直し製造・工場設備の省電力・効率化をする
*管理時間見直し、遮熱・排熱管理で廃棄エネルギーの減少化検討
(2) 廃棄物の排出量削減
廃棄物の分別収集を徹底し、資源のリサイクルをする
(3) 総排水量の削減
水を効率的に利用する為に設備等の工夫・メンテナンスをする。

2. 関係する環境関連法規を遵守します。

3. 化学物質の削減及び、適正管理に努めます。

4. 環境負荷軽減を意識してもらう様にした上で、社員と共に
働きがいのある職場づくりに努める。

5. 環境方針は全従業員に周知させるとともに、
ホームページ等を通じ社外へ公表します。

2020年4月1日
(有)飯田製作所
代表取締役社長 野渡透一

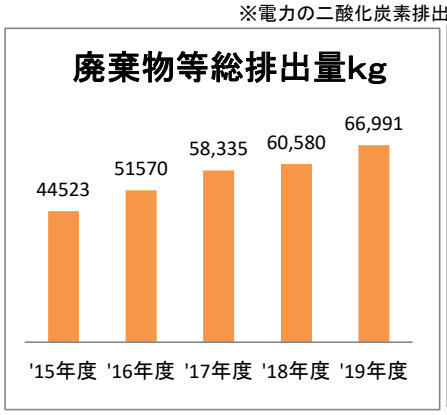
3）福島工場目標と実績（共有活動実績）

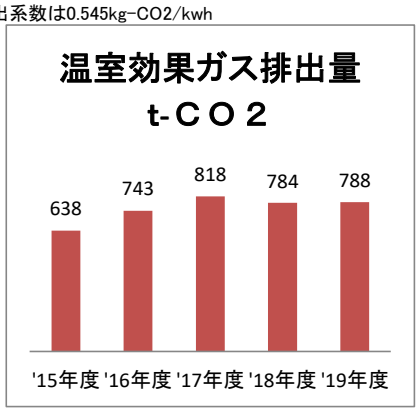
環境経営目標と実績

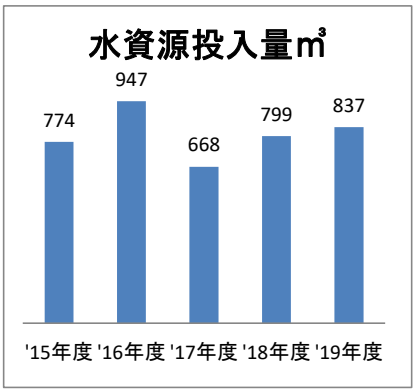
環境経営目標		単位	実績 '15年度	'16年度	'17年度	'18年度	'19年度	'20年度	中長期目標値 '21年度	'22年度
二酸化炭素排の排出量削減	目標	t-CO_2	798	790	780	816	807	798	798	798
	実績		638	743	818	784	788	2011年度△12%	2011年度△12%	2011年度△12%
	評価		達成	達成	未達	達成	達成			
廃棄物等総排出量	目標	kg	61,920	60,545	59,850	59,239	60,277	59,974	57,792	57,792
	実績		44523	51570	58,335	60,580	66,991	2018年度△1.0%	2012年度△2.0%	2012年度△2.0%
	評価		達成	達成	達成	未達	未達			
水資源投入量（総排水量）	目標	m^3	1,509	1,493	1,031	1,020	1,009	999	989	989
	実績		774	947	668	799	837	2013年度基準6%	2013年度基準7%	2013年度基準7%
	評価		達成	達成	達成	達成	達成			
グリーン購入の推進（両工場共通）	目標	個数	180	185	187	189	5%以下	5%以下	5%以下	5%以下
	実績		180	185	187	190	3%	+3	+2	+2
	評価		達成	達成	達成	達成	達成	-	-	-
廃却金額削減（両工場共通）	目標	金額（千円）	21,912	18,954	37,987	28,222	26,955	25,158	24,270	24,270
	実績		22,496	20,769	35,939	25,874	18,900	-	-	-
	評価		未達	未達	達成	達成	達成			
化学物質使用量の管理	目標	kg	-	320	312	311	295	279	273	273
	実績		-	283	258	228	241	-	-	-
	評価		-	達成	達成	達成	達成			

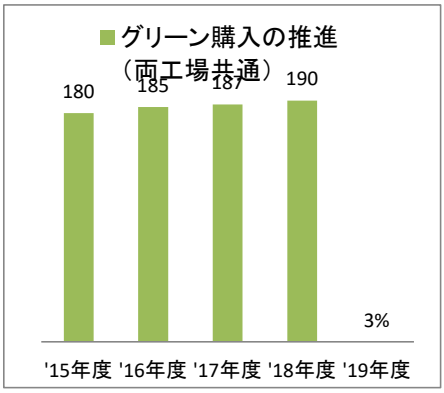
※総排水量は水投入量で把握

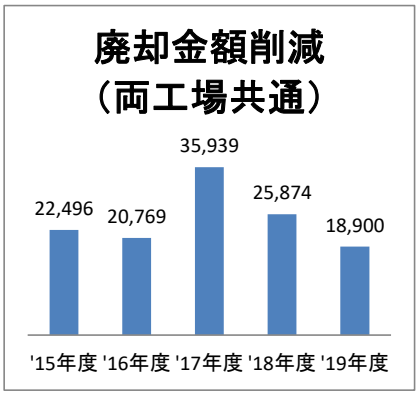
※電力の二酸化炭素排出系数は0.545kg-CO2/kwh

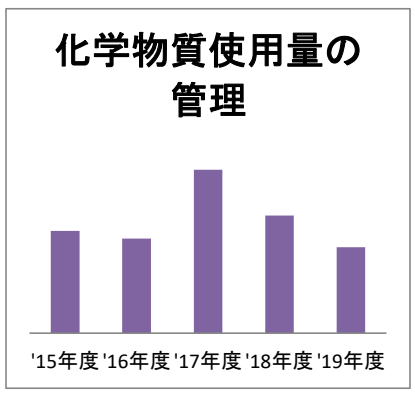












4）福島工場活動の評価

二酸化炭素排出量の抑制

2015年		2016年		2017年		2018年		2019年	
638	→	743	→	816	→	784	→	788	t-CO2
							目標	807	

【評価】　達成

・二酸化炭素の抑制は目標達成でした
・生産体制が変わり　2交替から3交替に代わり空調関連が24h使用になりました
・太陽光発電システム設置発電出力『49.5kW』トラブルも無く稼動
・工場内照明休憩時は消灯実施

廃棄物量排出量の抑制

2015年		2016年		2017年		2018年		2019年	
44,523	→	51,570	→	58,335	→	59,239	→	66,991	kg
							目標	60,277	

【評価】　未達成

・廃棄物排出量の抑制は目標が未達成
・各部署昼礼等で作業者に取組み内容を説明し実施した成果が出ました
・リサイクル出来る材質の購入及び廃棄物を出来るだけ分別したため
・切粉及び端材のリサイクル業者が出来なくなり埋立になり目標が達成出来ませんでした

水資源投入量の抑制

2015年		2016年		2017年		2018年		2019年	
774	→	947	→	668	→	799	→	837	m3
							目標	1,009	以下

【評価】　達成

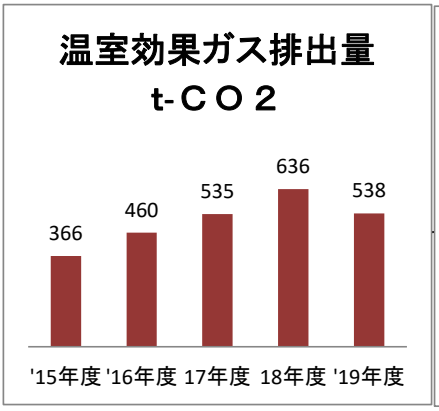
・水資源投入量の抑制は目標を達成しました
・安全衛生等でトイレ及び洗面所付近を1回／月点検実施　不備ヵ所修理

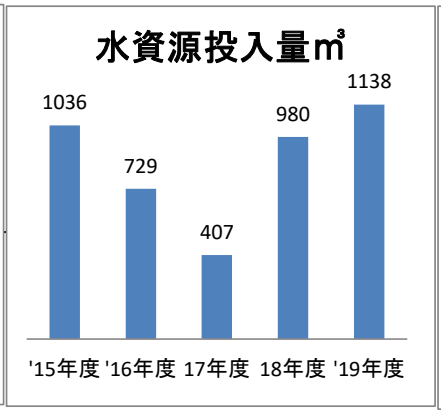
5）福島第2工場目標と実績

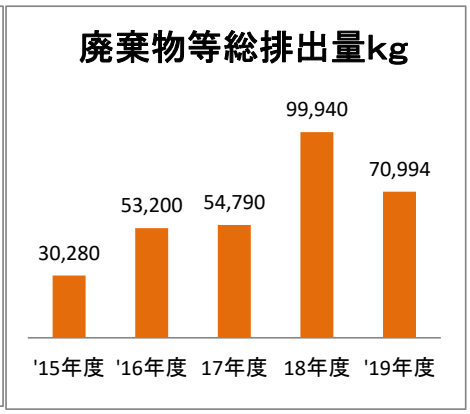
環境経営目標と実績

環境経営目標		単位	実績 '15年度	'16年度	17年度	18年度	'19年度	20年度	中長期目標値 21年	22年
二酸化炭素排の排出量削減	目標	t-CO_2	505	495	574	544	763	604	585	585
	実績		366	460	535	636	538	2018年度△5%	2018年度△8%	2018年度△8%
	評価		達成	達成	達成	達成	達成			
廃棄物等総排出量	目標	kg	89,404	88,462	75,287	65,876	944,943	91,944	89,946	89,946
	実績		30,280	53,200	54,790	99,940	70,994	2018年度△8%	2018年度△10%	2018年度△10%
	評価		達成	達成	達成	未達	達成			
水資源投入量（総排水量）	目標	m^3	806	797	788	780	1176	960	931	931
	実績		1036	729	407	980	1138	2018年度△2%	2018年度△5%	2018年度△5%
	評価		未達成	達成	達成	未達	達成			

※総排水量は水投入量で把握
※電力の二酸化炭素排出係数は0.545kg-CO2/kWh







6）福島第2工場活動の評価

二酸化炭素排出量の抑制

2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	
366 →	460 →	535 →	636 →	538	t-CO2
				目標 763	

【評価】　達成

- 改善プロジェクトにより2交替勤務より日勤に代わり空調の使用が減りCo2削減がされました
- 二酸化炭素の抑制は目標を達成出来ました
- 休憩稼動以外は天井照明及び手元照明の消灯等、各製造現場で実施されました

廃棄物量排出量の抑制

2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	
30,280 →	53,200 →	74,790 →	99,940 →	70,994	kg
				目標 94,943	

【評価】　達成

- 廃棄物排出量の抑制は目標を未達成
- 切粉・端材のリサイクル品目追加で分別実施
- 改善活動による歩留り向上の推進実施

水資源投入量の抑制

2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	
1036 →	729 →	822 →	980 →	1138	m3
				目標 1176	以下

【評価】　達成

- 除染等で使用量が増えてしまい未達成（使用量予測以上）
- 今後、点検項目に追加し各部署より情報取集対応実施して行う
- 除染等で水道の使用量が増えたため達成出来ませんでした

7)本社工場及び工場共通活動の評価

環境経営目標		単位	実績 15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	中長期目標値 21年度	22年度
二酸化炭素排の排出量削減	目標	$t-CO_2$	1.2	11	12.19	11.99	13.5	10.28	9.71	9.43
	実績		7.8	10.89	11.43	7.09	809	2017年度 △0.1%	2017年度 △0.15.%	2017年度 △0.17.%
	評価		達成	達成	達成	達成	達成			
廃棄物等総排出量	目標	kg	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
	実績		0	0	0	0	0	-	-	-
	評価		達成	達成	達成	達成	達成			
水資源投入量（総排水量）	目標	m^3	18	9.90	9.85	9.8	9.75	9.70	9.65	9.60
	実績		10	6.0	7.0	8.0	8.0	2015年度 △0.03%	2015年度 △0.035%	2015年度 △0.04%
	評価		達成	達成	達成	達成	達成			

※総排水量は水投入量で把握

※電力の二酸化炭素排出系数は0.545kg-CO2/kWh

二酸化炭素排出量の抑制

2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
7.8 →	10.89 →	11.43 →	7.09 →	8.09 t-CO2

【評価】 達成　　目標 13.5

・二酸化炭素の抑制は目標を達成出来ました
・事務処理のため休憩中の天井照明及び手元照明の消灯を行った
・試験運転の耐久性を確認するためエージングを実施電気使用量が増えました

廃棄物量排出量の抑制

2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
0 →	0 →	0 →	0 →	0 kg

【評価】 達成　　目標 5.0 以下

・不要な物を購入し内容活動実施　目標達成

水資源投入量の抑制

2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
10 →	6.0 →	7.0 →	7.0 →	8.0 m3

【評価】 達成　　目標 9.75 以下

・トイレ掃除のときの水の使用量を節約するよう取組を実施

工場全体共通取組み目標評価

グリーン購入の推進

2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
180 →	184 →	187 →	190 実績	5 %

【評価】 達成　　目標 9 %以上　購入比率向上

・目標をグリーン購入比率向上に変更
・購入適用製品（ﾏｰｸ）を各課に優先的に依頼して結果目標を達成しました。

製品廃却金額削減

2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
22,496 →	20,769 →	35,939 →	25,874 →	18,900 千円

【評価】 達成　　目標 19,134 千円以下

・目標は達成できました。
・加工起因による損失削減のため加工不良低減活動を各係テーマに挙げ取組み実施する。

化学物質適正管理

2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
425 →	283 →	258 →	228 →	241 kg

【評価】 達成　　目標 295 kg以下

・目標は達成できました。
・溶剤の小分け用容器見直し及び一時保管庫購入設置
・MEKの代用品で洗浄を実施削減検討

7)-1環境活動

実施事項:

① ハイブリットの風力の位置を変更発電を改善照明設置
（風力、太陽光パネル仕様）

② 回収BOX改善実施

③ 太陽電池式照明で省エネ実施

④ 回収箱の色、形を変え分別しやすく改善実施

7）-2環境活動

工場回り清掃実施
（U字溝清掃）

①福島工場第2駐車場付近草刈り実施

④社員駐車場付近の草刈り実施

②切粉回収のコンテナに踏み台を設置積上げで対応

8）環境経営計画と取組結果・評価、次年度の取組内容

環境経営計画と取組結果・評価、次年度の取組内容

施策			計画	対象	責任部門	評価	次年度の取組内容
電気使用量削減	1	コンプレッサー効率運転	通年	福島工場 第二工場	製造課 生技課	○	・計画に沿って定期的メンテ及びオイル交換、フィルタ交換、清掃
	2	空調の効率を上げる	通年	福島工場 第二工場 本社工場	各課	○	・各製造フロアーの空調フィルタの定期清掃（各部署のｴｱｺﾝ） ・ｸｰﾘﾝｸﾞﾀﾜｰの定期清掃（虫除け網の取付け） ・室外機付近の草刈り及び清掃実施
	3	照明の更新（LED変更）	通年	福島工場 第二工場	各課	△	・作業場・休憩室・通路・食堂等の不要照明は消灯 ・作業場内休憩中天井照明消灯実施
廃棄物削減	4	リサイクル回収場所の 2S実施	通年	福島工場 第二工場	各課	△	・各回収場所の整理・整頓を実施 ・電池類回収容器の整備実施 ・切粉分別（品目追加）見直し実施
	5	共有備品購買見直し実施	通年	福島工場 第二工場 本社工場	各課	△	・文房具の購入の前に在庫を確認で購入の見直し実施
水使用量 （排水量）	6	トイレの換気扇清掃、及び 洗面の水漏れ点検	通年	福島工場 第二工場 本社工場	各課	○	・洗面・食堂・トイレ等水漏れ点検実施 ・節水表示が表示されているか点検整備 （振動バレル・クーリンガタワー等の水源使用ヵ所）
品質管理	7	製品廃却金額の削減	通年	福島工場 第二工場	製造課 品管課	○	・工程を管理し、改善することにより損失金額減らす。 （両工場で同じ取組み）
グリーン購入 の推進	8	グリーン購入 ・対象種類の追加 ・共有備品棚の整備	通年	福島工場 第二工場 本社工場	総務課 事務局	○	・グリーン購入の品目追加実施。 （両工場合わせ目標4件に対し4件）
その他	9	緊急事態対応訓練	通年	福島工場 第二工場	総務課 事務局	○	・消防計画書により実施。
	10	地域社会貢献活動	通年	福島工場 第二工場	総務課 事務局	○	・福島工場、第2工場の駐車場、及び工場回り 草刈り実施（2回/年） ・献血（1回/年）推進・　掲示を実施

○ 達成　　△ 一部未達成　　× 未達成

9）環境関連法規への違反、訴訟等の有無

・自社の環境関連法規の違反はありません。

・近隣からの苦情、関係機関からの指摘、及び訴訟等は過去11年間ありません。

10）代表者による全体評価と見直し

（1）全体評価

・大型設備(電気炉増設)の移管により、業務の内容も工場稼動の領域も大きな変化に成りました。

・廃棄物削減の目標を達成するため包装資材の現状調査を行い事務局中心にリサイクルを検討し活動を行うこと。

・今回、環境目標数値を増産による上昇より少なく設定することによって、今後の数値上昇率を下げて、
社員の意識を高め大幅増加を未然に防ぐ活動をしていく。

・今年、製品の廃棄金額が増加したのは、『外部クレームゼロ』が途絶えたことと、
増産により廃棄する不具合品の増加による。

・太陽光発電システムの太陽光パネルの点検整備を行い維持管理を行う。

・これからは、日々の活動を意識し継続することが、資源も経費も削減され良い結果を出せるような
一年にしたいと願います。

（2）見直し

・各課の取組をPDCAサイクルという基本をしっかりと維持し、目標設定の向上と見直しを行い、
妥当性の有る有効な展開に努力する。
・省エネ、廃棄物削減のために、効率を含めた空調の可動台数調整やレイアウトの工夫を実施する。
・化学物質の適正管理及び教育を実施する
・廃棄物の削減を行うためリサイクル出来る仕組みを作り実施する。

2020年6月18日
(有)飯田製作所
野渡　透一